

保 証 書		持込修理
形 名	CCD-1000 (J)	製造番号
※ お 客 様	お名前	様
	ご住所 〒	
	電話番号 ()	
※ お 買 い 上 げ 日	※取扱販売店名、住所、電話番号	
年 月 日		
保証期間 (お買い上げ日より)		
本 体 :	1 年	

※印欄は必ずご記入ください。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。
●修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、ケンウッドサービス網一覧表をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

《無料修理規定》

- 本保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス網一覧表をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、ケンウッドサービス網一覧表をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - 本保証書のご提示のない場合。
 - 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
 - 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷 (例えば、業務用の長時間使用、車両<車載用製品を除く>、船舶への搭載等)
 - 製造番号の改変及び、取り外した製品。
 - 消耗部品 (例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池等) の交換。
 - 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
7. 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。
※修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはケンウッドサービス網一覧表をご覧の上、サービス窓口へお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒 192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター
電話 (045)933-5212、(06)6394-8085 (横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます)
FAX (045)933-5553
住所 〒 226-0006 神奈川県横浜市緑区白山 1-16-2
受付時間 9:00 ~ 18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、「ケンウッドサービス網一覧表」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証について

- 保証期間
お買い上げの日より **1年**です。

修理を依頼されるときは

「困ったときは」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。「ケンウッドサービス網一覧表」をご参照ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により **有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 **6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料 : 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代 : 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

KENWOOD

後方確認用カラー CCD カメラ

CCD-1000

取扱説明書



お買い上げいただきましてありがとうございました。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド Kenwood Corporation
© B54-4462-08/00 (J)

ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について :

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

⚠ 記号は注意 (警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。



実施

❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ケンウッドサービス網一覧表

北海道

札幌サービスセンター ☎ 007-0834 札幌市東区北 34 条東 1 4 丁目 1-23 ☎ (011) 743-7740
カー札幌営業所 ☎ 007-0834 札幌市東区北 34 条東 1 4 丁目 1-23 ☎ (011) 743-7733

東北

仙台サービスセンター ☎ 984-0042 仙台市若林区大和町 5-32-12 (サンライズ大和) ☎ (022) 284-1171
カー仙台営業所 ☎ 984-0042 仙台市若林区大和町 5-32-12 (サンライズ大和) ☎ (022) 238-4363
盛岡サービスステーション ☎ 020-0124 盛岡市厨川 4-5-11 ☎ (019) 646-2311
カー盛岡オフィス ☎ 020-0124 盛岡市厨川 4-5-11 ☎ (019) 646-2396

関東・甲信越

さいたまサービスセンター ☎ 331-0812 さいたま市北区宮原 1-311-1 加茂宮ビル 1F ☎ (048) 664-3611
カーさいたま営業所 ☎ 331-0811 さいたま市北区吉野町 2-214-8 ☎ (048) 666-9122
カー高崎オフィス ☎ 370-0841 高崎市栄町 9-3 木村ビル II 1F ☎ (027) 323-1181
カー千葉営業所 ☎ 261-7117 千葉市美浜区中瀬 2-6 (ワールドビジネスガーデン マリアフィースト 17F) ☎ (043) 297-2468
千葉サービスセンター ☎ 277-0081 柏市富里 1-2-1 ☎ (04) 7163-1441
カー柏オフィス ☎ 277-0081 柏市富里 1-2-1 ☎ (04) 7163-1462
横浜サービスセンター ☎ 226-0006 横浜市緑区白山 1-16-2 ☎ (045) 939-6242
東京サービスステーション ☎ 169-0073 新宿区百人町 2-16-15 MY ビル 1F ☎ (03) 3363-1650
新潟サービスステーション ☎ 950-0923 新潟市姥ヶ山 1-5-37 ☎ (025) 287-7736

中部

名古屋サービスセンター ☎ 462-0861 名古屋市北区辻本通 1-1-1 ☎ (052) 917-2550
カー名古屋営業所 ☎ 461-0011 名古屋市東区白壁 3-12-13 (中産連ビル新館 4F) ☎ (052) 931-6281
静岡サービスステーション ☎ 420-0816 静岡市畜谷 5-61-1 ☎ (054) 262-8700
松本サービスステーション ☎ 390-0832 松本市南松本 2-7-30 (昭和ビル 2F) ☎ (0263) 26-7331
金沢サービスステーション ☎ 920-0036 金沢市元菊町 21-87 ☎ (076) 265-5045
カー金沢オフィス ☎ 920-0036 金沢市元菊町 21-87 ☎ (076) 263-3539

近畿・四国

大阪サービスセンター ☎ 532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22 ☎ (06) 6394-8075
カー大阪営業所 ☎ 532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22 ☎ (06) 6394-8065
高松サービスステーション ☎ 760-0068 高松市松島町 3-1 ☎ (087) 835-2413
カー高松オフィス ☎ 760-0068 高松市松島町 3-1 ☎ (087) 837-7661

中国

広島サービスセンター ☎ 731-0137 広島市安佐南区山本 1-8-23 ☎ (082) 832-2210
カー広島営業所 ☎ 731-0137 広島市安佐南区山本 1-8-23 ☎ (082) 832-2204

九州

福岡サービスセンター ☎ 815-0035 福岡市南区向野 2-8-18 ☎ (092) 551-9755
カー福岡営業所 ☎ 815-0035 福岡市南区向野 2-8-18 ☎ (092) 551-9771
鹿児島サービスステーション ☎ 890-0063 鹿児島市鴨池 2-15-10 パレス鴨池 1F ☎ (099) 251-6347
カー鹿児島オフィス ☎ 890-0063 鹿児島市鴨池 2-15-10 パレス鴨池 1F ☎ (099) 251-6251
沖縄サービスステーション ☎ 901-2132 浦添市伊祖 1-5-2 ☎ (098) 874-9010

■サービスセンター、ステーションの営業時間のご案内
月曜日～金曜日 (土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く) 午前 10 時より午後 6 時まで
カスタマーサポートセンター ☎ 226-0006 横浜市緑区白山 1-16-2 ☎ (045) 933-5212 ☎ (045) 933-5212 (横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます)

■カスタマーサポートセンターの営業時間のご案内
月曜日～金曜日 (土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く) 午前 9 時より午後 6 時まで
(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがあります。)

安全上のご注意

警告

24V 禁止 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



禁止 本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



禁止 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施 配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施 本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止 コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



注意 車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



禁止 アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。

実施 本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



実施 事故防止のため、ネジなどの小物は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

実施 本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意 本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。

注意

実施 本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のためご購入の販売店にご依頼ください。

禁止 製品は、車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上のご注意

- 注意** ●本機は広角レンズを使用していますので、実際より遠めに映ります。必ず目視で周囲の安全を確認してから後退運転を行ってください。
- 走行前に取り付け状態を点検してください。
 - ✓取付ネジがゆるんでいないか
 - ✓カメラスタンドがはがれていないか
- カメラ内および車室内に水の浸入を防ぐため、洗車する際はカメラや配線部への直接放水は避けてください。
- 自動洗車機は使用しないでください。カメラ内に水が入ったり、カメラが落下する恐れがあります。
- カメラ本体とレンズ部分やカメラスタンド、コード類の変形や破損を防ぐため、薬品は使わず必ず水で拭いてください。レンズ部分はキズがつきやすいので、やわらかい布などで拭いてください。
- 長時間カメラのレンズに、太陽光やヘッドライトの光などが当たると残像（焼き付き現象）が残るときがあります。長時間駐車する場合は、光が入らないようレンズ部を覆ってください。

取り付け上のご注意

- 注意** ●コード類は、運転操作の妨げにならないようテープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 後方視界の妨げになる場所に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。
- 雨天時（霧雨時など）は、室外で取り付けをしないでください。（接着力が弱くなり、カメラが走行中にはがれ落ちる危険性があります）
- カメラスタンドをフッ素樹脂加工処理された車体やガラスに取り付けしないでください。カメラが落下する恐れがあります。
- あらかじめカメラとモニターを仮接続し、カメラを取り付けたい場所にあてパンパー直下が見えることを確認のうえ、取り付け位置を決めてください。このときカメラが車両に当たらないことを確認してください。（一度、貼り付けると貼り直しができません）
- ガラス面に取り付ける場合は、リアワイパーにカメラが当たらないことを確認してください。
- 取り付け面の温度が低い（外気温20℃以下）時は、接着力を上げるためドライヤーなどで温めてから取り付けてください。（室内ヒーターやリアウインドーの熱線なども効果があります）
- カメラを取り付け後、24時間以内は雨中の走行や水をかけたり無理な力を加えないでください。カメラスタンドの接着力が弱くなりはがれ落ちる危険性があります。（晴天時など通常の走行にはさつかえありません）

仕様一覧

【カメラ部】

出力映像	広角鏡像（後方確認用）
撮影素子	カラー CCD 固定素子 1/4 インチ
画素数	492（垂直）x 542（水平）（約27万画素）
レンズ	広角、焦点距離 f=1.7mm F値 3.5
画角	水平：約120° 垂直：約84°
アイリス方式	電子アイリス
走査方式	インターレース
同期方式	内部同期
映像出力	1Vp-p（75Ω）

【変換ボックス部】

電源電圧（⊖アース）	14.4V（11～16V）
最大消費電流	約150mA

【寸法・重量】

カメラ部	
外形寸法（W×H×D）	34×27×30mm
質量（重さ）	約40g（ケーブルを除く）
変換ボックス部	
外形寸法（W×H×D）	70×30×41mm（突起部を除く）
質量（重さ）	120g

※鏡像映像とは、バックミラーやサイドミラーと同様に、左右反対に映ることをいいます。
※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

取り付け用の部品一覧

カメラ用として以下の部品を付属しています。取付 / 接続前にご確認ください。

! 本製品を取り付けの際には必ず付属の取付用部品をご使用ください。

実施

カメラ (防水パッキン付き) 1



接続コード 1
中継コネクタ 1



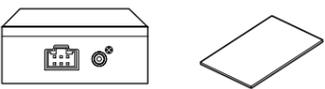
カメラスタンド 1
取付ネジ 2



ビデオケーブル 1



変換ボックス 1
両面テープ 1

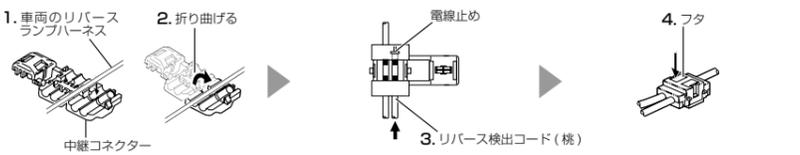


ケーブルホルダー 4
束線バンド 2
ケーブルクランプ 7

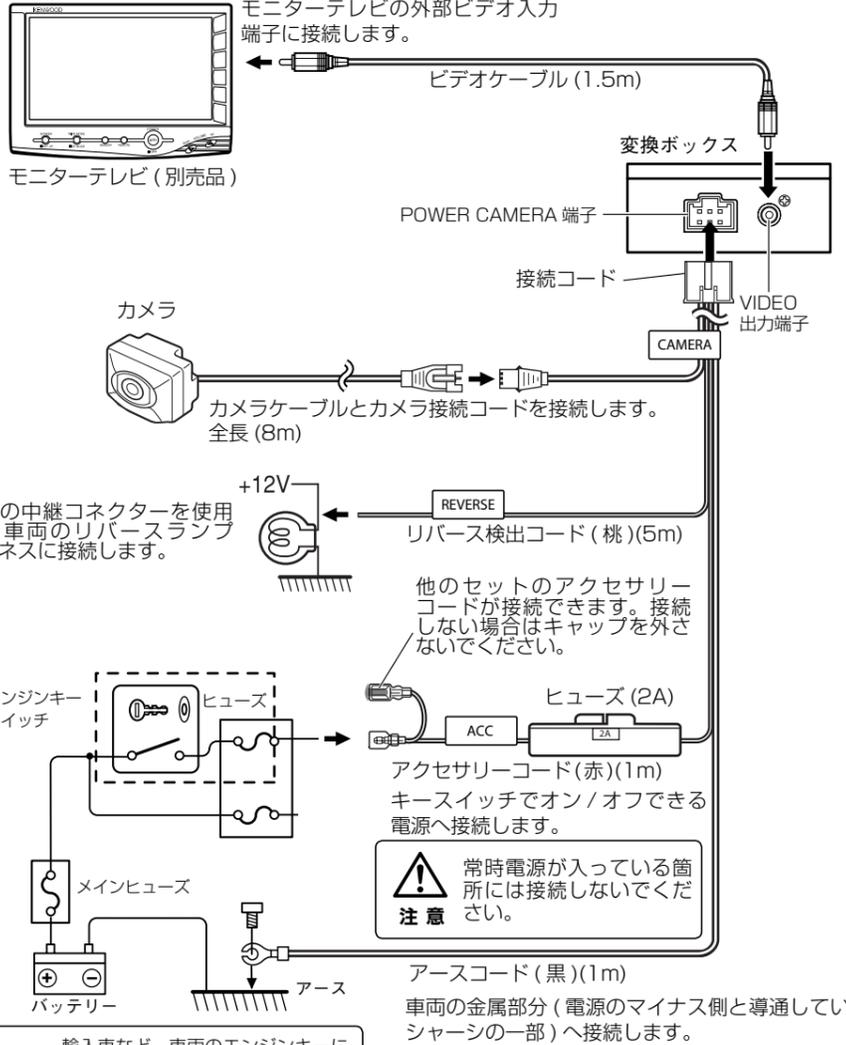


中継コネクタの使いかた

1. 車両のリバースランプハーネスを中継コネクタに差し込みます。
2. 中継コネクタを折り曲げリバースランプハーネスをロックします。
3. リバース検出コード (桃) を中継コネクタに差し込みます。(電線止めまで差し込みます)
4. ラジオペンチ、プライヤーなどでフタをロックします。



接続のしかた



! 輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合は、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。

! 接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

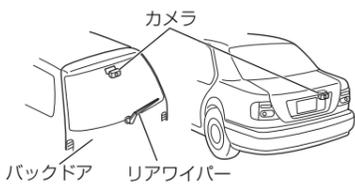
カメラの取り付け

! 作業を始める前に「取り付け上のご注意」をお読みください。

1. カメラを取り付ける位置を決めます。

- !** **実施**
- カメラをテープなどで仮止めし、角度調整をして車両後端が確認できる位置に取り付けてください。
 - カメラはハイマウントランプなどの光がカメラレンズに入らない位置に取り付けてください。

カメラ取り付け例



2. カメラスタンドを取り付ける部分の汚れ、水分、油などを市販のクリーナーできれいに拭き取ります。



3. カメラスタンドの両面テープのハクリ紙をはがし平らな面に取り付けます。

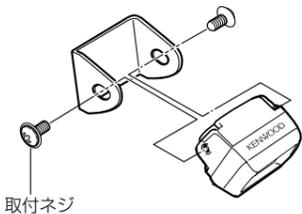
- !** **実施**
- 取り付け後は、確実に密着するようにカメラスタンドを十分押しつけてください。
 - 取り付け面の温度が低い (外気温 20℃以下) 時は、接着力を上げるためドライヤーなどで温めてから取り付けてください。

バックドアガラスの場合



4. カメラをカメラスタンドに取り付けます。

- !** **実施**
- "KENWOOD" ロゴが上になるように取り付けてください。

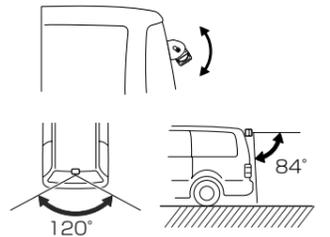


カメラの角度調整

1. あらかじめすべての配線を済ませておきます。

2. モニターテレビを外部ビデオ入力に切りかえます。

- !** モニターテレビによっては、自動的に外部ビデオ入力に切りかわります。くわしくはモニターテレビの取扱説明書をご覧ください。

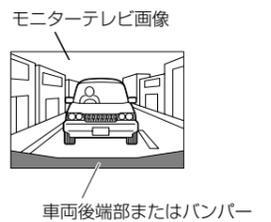


3. シフトレバーをRレンジにし、車両後方の映像を表示させます。

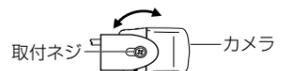
- !** **実施**
- カメラを映し出すときには、車が動かないようにサイドブレーキを引く、輪止めを必ず行ってください。思わぬ事故の原因となります。

4. 車両後部または車両のバンパーがモニターテレビ画面の下端に映るように角度調整します。

- !** **実施**
- カメラ角度調整のとき、カメラケーブルが突っ張らないように注意してください。
 - 取付ネジは時々点検し、緩みがある場合は増し締めしてください。

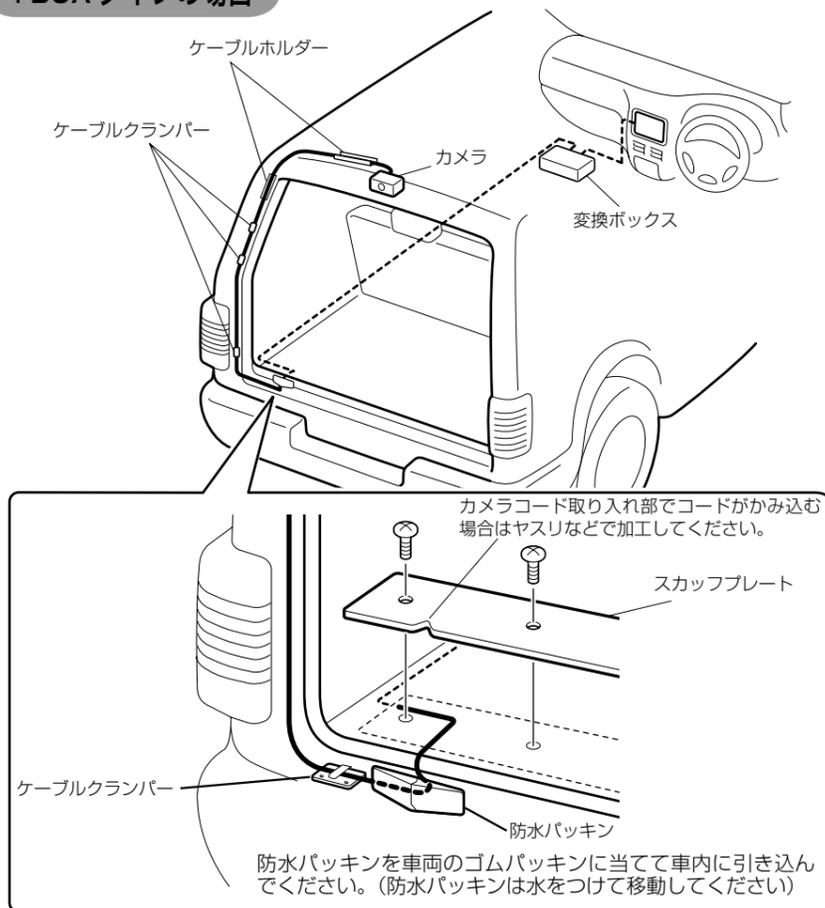


5. 角度調整後、取付ネジをしっかりと締め付けます。



ケーブルの引き回し例

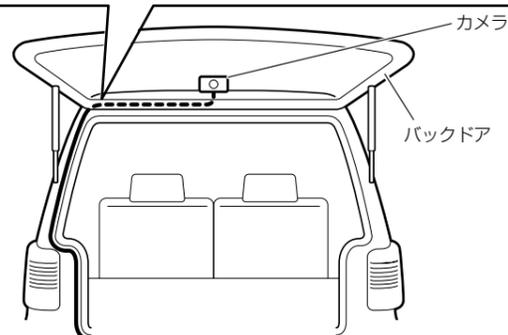
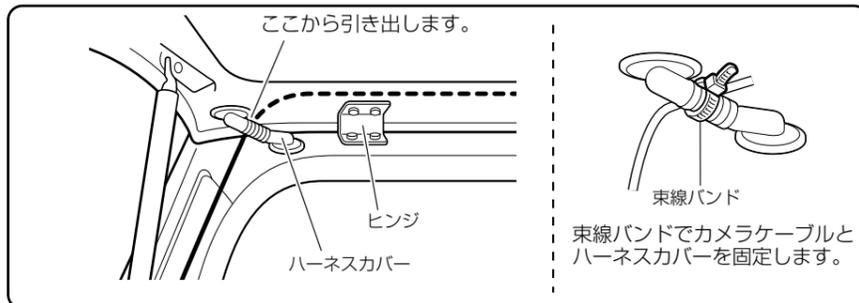
1BOXタイプの場合



- 注意**
- ケーブルクランパー、ケーブルホルダーを取り付ける部分は、クリーニングクロスで、ほこり、油膜、ワックスなどを拭きとってください。
 - カメラケーブルとカメラ接続コードの接続部は防水加工されていません。必ずケーブル接続部は車室内に引き込んで配線してください。
 - カメラケーブルは、テレビアンテナケーブルから、できるだけ離してください。(テレビに妨害が入ることがあります)
 - モニターテレビの電源を切っても、AM ラジオ放送に雑音が入るときは、車両のワイヤーハーネスからカメラケーブルを離してください。

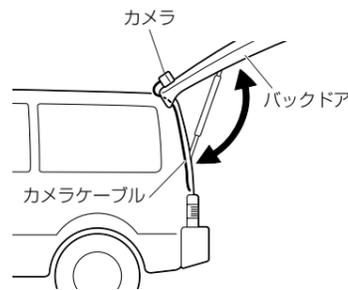
引き回しのポイント

- カメラケーブルを車内に引き込むときは、バックドアのハーネスカバーとヒンジの外側を引き回してください。



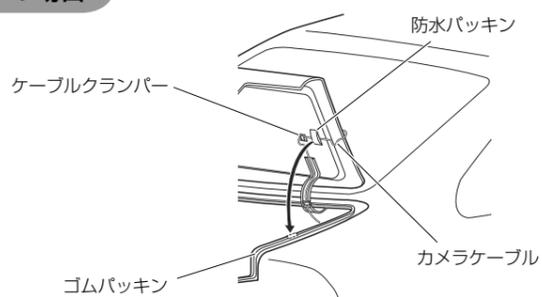
コードを処理したら

- バックドアをゆっくり開閉し、カメラケーブルがドアの縁でこすれていないか確認してください。



ケーブルの引き回し例

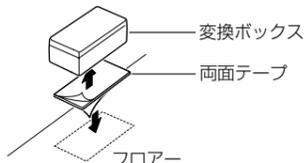
セダンタイプの場合



- 実施**
- 防水パッキンはトランク蓋を閉じたときに平行に当たるところに取り付けてください。

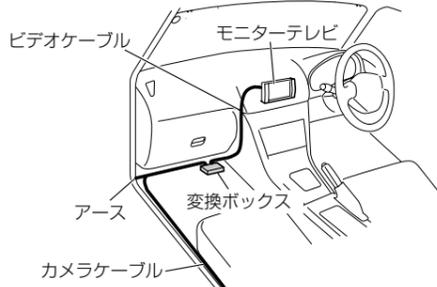
変換ボックスの取り付け

1. 変換ボックスの裏面に両面テープを貼り付け、助手席足元のカーペットの下に貼り付けます。



- 注意**
- 変換ボックスを以下の場所に取り付けないでください。
- 水のかかる場所
 - 不安定な場所
 - 運転の妨げになる場所
 - 高温になる場所

2. 変換ボックスのアースコード(黒)を車両の金属部分(電源のマイナス側と導通しているシャーシの一部)へ接続します。



- 実施**
- 変換ボックスを取り付ける前に、取り付け位置表面の汚れ、水分、油分を十分に拭き取ってください。

困ったときは

カメラ映像が映らない、不鮮明

- ヒューズが切れている。
- リバース検出コードが接続されていない。
- モニターテレビが外部ビデオ入力に切りかわっていない。
- カメラの前面が汚れている。
- ヒューズを交換してください。
- リバース検出コードの接続してください。
- モニターテレビを外部ビデオ入力に切りかえてください。くわしくはモニターテレビの取扱説明書をご覧ください。
- クリーニングしてください。

画像がちらつく

- ▶ 蛍光灯の照明が当たっている。 本機の故障ではありません。50Hzの電源地域の蛍光灯下では画像がちらつきます。

画像上下に白い帯の縞が入る

- ▶ カメラのレンズに、太陽光やヘッドライトの強い光などが当たった。 本機の故障ではありません。CCD撮影素子の特有の現象です。強い光がなくなると消えます。

FM ラジオに雑音が入る

- ▶ カメラの映像を見ながらFM放送を受信している。 本機の故障ではありません。